

## 知事のベトナム・タイ訪問について（４日目結果）

12月23日（金）

- 知事及び訪問団一行は、早朝にハノイを出発し、正午前にバンコクへ到着しました。
- その後、在タイ日本国大使館を訪問し、大場雄一臨時代理大使から、最近のタイ政治経済情勢について説明を受けるとともに、タイにおける食品の輸入規制や日本産食品の現地での位置付け等に関する意見交換を行いました。
- 続いて、タイ国政府観光庁を訪問し、ユッタサック スパソーン総裁と会談を行うとともに、同庁との間で「観光交流促進に係る趣意書」を締結し、誘客プロモーション活動の相互支援等に努めることを確認しました。
- 夕方からは、バンコク市内のホテルにおいて、タイ政府、現地の公的機関や民間企業等から要人を招き、本県と在タイ日本国大使館との共催による「とちぎの魅力発信レセプション」を開催しました。レセプションでは知事が先頭に立って栃木県をPRするとともに、現地要人との交流を深めるなど、関係の強化を図りました。
- また、観光班は、栃木県観光物産協会や県内観光事業者とともに、バンコク市内のホテルにおいて「栃木県観光情報セミナー・商談会」を開催し、現地旅行会社に本県の魅力をPRし、本県へのツアー造成による送客を呼びかけました。

### 1 在タイ日本国大使館訪問

(1) 日 時 12月23日（金）13:50～14:20

(2) 場 所 在タイ日本国大使館

(3) 相手方（計2名）

大場雄一 在タイ日本国大使館臨時代理大使  
金城信彦 二等書記官（農林水産業担当）

(4) 県 側（計15名）

福田知事、山形議長、渡辺議員、琴寄議員、辻産業労働観光部長、青柳農政部長、鱒淵国際課長、白鳥経済流通課長 他

(5) 内 容

知事及び訪問団一行は、在タイ日本国大使館を訪問し、大場雄一臨時代理大使から最近のタイ政治経済情勢について説明を受けるとともに、タイにおける食品の輸入規制や日本産食品の現地での位置付け等に関する意見交換を行いました。

在タイ日本国大使館では、同大使館及びジェットロを主なメンバーとして、2022年5月に、タイの農林水産物・食品の輸出支援プラットフォームを立ち上げ、オールジャパンで輸出しやすい環境づくりに取り組んでいるとのことでした。そのため、大場臨時代理大使からは、「栃木県の事業者がタイの輸入規制に関して解決を望む案件を抱えていれば相談して欲しい。」とのお話がありました。

知事からは、本県の魅力ある観光地や農産物等を紹介し、本県への観光誘客や輸出

拡大等について支援・協力を依頼しました。



## 2 タイ国政府観光庁訪問及び趣意書締結

(1) 日 時 12月23日(金) 15:10～15:50

(2) 場 所 タイ国政府観光庁(バンコク市内)

(3) 相手側(計6名)

タイ国政府観光庁 ユッタサック スパソーン総裁 他

(4) 県 側(計17名)

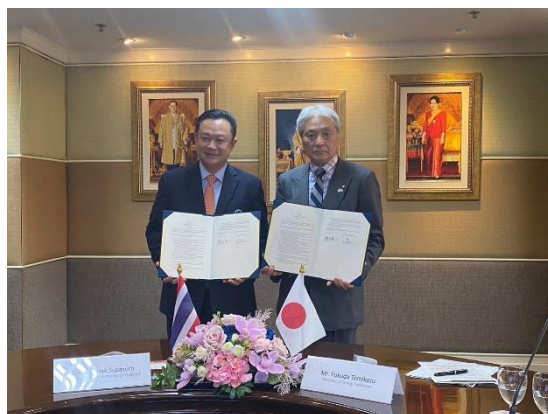
福田知事、山形議長、渡辺議員、琴寄議員、辻産業労働観光部長、青柳農政部長、  
鱒淵国際課長、小池観光交流課長、白鳥経済流通課長 他

(5) 内 容

タイと本県の相互誘客プロモーション支援や更なる関係強化に向け、「観光交流促進に係る趣意書」をタイ国政府観光庁と締結しました。

ユッタサック スパソーン総裁からは、「締結を機に、教育旅行や企業のインセンティブツアーの促進など、双方向の交流を具体的に進めていきたい。」とのコメントがありました。これに対して知事は、「タイとの相互交流を私が先頭に立って進めていく。」と応えました。

また、趣意書締結後、同庁1階に設けられた記帳所において、入院中のタイ国パチャキティヤパー王女の早期回復を願い、知事が記帳を行いました。





### 3 とちぎの魅力発信レセプション

(1) 日 時 12月23日(金) 18:00～19:30

(2) 場 所 プルマン バンコク グランデ スクンビット (バンコク市内)

(3) 招待者 (計 79 名)

タイ政府、現地の公的機関や民間企業等

(4) 県 側 (計 44 名)

- ・ 福田知事、山形議長、渡辺議員、琴寄議員、辻産業労働観光部長、青柳農政部長、鯨淵国際課長、小池観光交流課長、白鳥経済流通課長 他
- ・ ジェトロ栃木貿易情報センター、民間事業者
- ・ 栃木県農業協同組合中央会等の農業関係団体
- ・ 栃木県漁業協同組合連合会
- ・ 栃木県観光物産協会、観光事業者

(5) 内 容

在タイ日本国大使館の大場雄一 臨時代理大使に御臨席いただき、本県と同大使館との共催によるレセプションを開催しました。

レセプションでは、知事が、タイ政府等、79名の招待者に向けて、本県の食、観光、ものづくり産業に係る魅力を発信するとともに、同行した各団体等からも、県産日本酒や農産物、観光に関するPRを行いました。

会場では、県産日本酒やとちぎ和牛のステーキ、にっこり、とちあいか、鮎のオイル煮、ヤシオマスなどを提供したほか、観光動画の放映や各種パンフレットを配布するなど、本県の魅力についてPRするとともに、現地要人との交流を深めるなど、関係の強化を図りました。

参加者からは、「日本酒はこれから需要が伸びる」、「フルーティーな香りの日本酒が美味しかった」、「とちあいかやにっこり、とちぎ和牛など、皆とても美味しかった。高品質で美味しい農産物を、これからもどんどんタイに輸出して欲しい。」などの声が聞かれました。



#### 4 栃木県観光情報セミナー・商談会

(1)日 時 12月23日(金) 14:30~16:30

(2)場 所 プルマン バンkok グランデ スクンビット (バンkok市内)

(3)参加者 (計19社23名)

訪日旅行商品を造成している現地旅行会社等

(4)県 側 (計11名)

- ・小池観光交流課長、観光交流課職員
- ・栃木県観光物産協会、観光事業者

(5)内 容

観光班は、栃木県観光物産協会や県内観光事業者とともに、バンkok市内のホテルにおいて「栃木県観光情報セミナー・商談会」を開催し、本県の魅力をPRするとともに、ツアー造成を促進するため商談会を行いました。

参加者からは、「タイ人に人気の高い桜や藤の花を詳しく知ることができた。栃木県のツアーは人気が出ると思う。」などのコメントがありました。

